

# 新潟県立長岡聾学校

## きこえ通信

令和8年度 第2号

<http://www.nagaokarou.nein.ed.jp/support.html>

当校 HP  
にも掲載

新潟県立長岡聾学校通級指導教室

通級指導教室 担当:千野 彩乃

〒940-0093 長岡市水道町 2-1-13

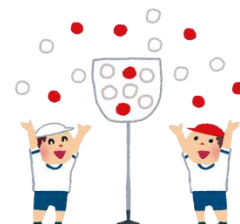
TEL 0258-38-0210(通級直通)

FAX 0258-39-5665

e-mail

school@nagaokarou.nein.ed.jp

ゴールデンウィークも終わり、5月は多くの小学校で運動会が行われると思います。また、中学校や高校では大会に向けて部活が本格化する時期です。しかし、難聴の児童生徒は教室より体育館やグラウンドなどでより多くの不便を感じているものです。今回は屋外や体育館など広い場所での活動について考えてみたいと思います。



### 屋外の活動と聞こえにくさ

通級指導教室では、いつも「最近どう?」という会話から始まります。テレビやゲームなどの話題で盛り上がることもありますが、学校生活のことも多く出ます。部活のこと、最近ハマっていること、担任の先生のエピソードや楽しかった授業のことなど、他愛のないおしゃべりがほとんどです。しかし、以前に浮かぬ顔でいつもと違う様子の子どもがいました。理由を尋ねると、「体育の授業で、グラウンドで先生の声が聞こえにくくてよくわからなかった」と言います。たしかに屋外などの広い場所では、屋内と違って反響がない分、ボリュームも明瞭度も下がるため、聞き取りにくい状況と言えます。「先生の近く行ってみたら…」とアドバイスしましたが、「体育の授業は並び順が決まっているから自分だけ言えない…」と声をつまらせました。そこで、その子の気持ちに寄り添いながら、一緒に解決策を探って行きました。最終的には、その事実や気持ちを担任の先生に伝えることができ、具体的な配慮をしていただきました。

また、徒競走でピストルの音が聞こえにくく、友だちよりもスタートが遅れてしまうと話すお子さんもいました。担任の先生と相談をして旗を使って合図を出してもらうことで、友だちと同じタイミングでスタートすることができた例もあります。

「教室でクラスの子どもたちしかいない」という状況と「屋外の広い場所で、学年や全校で集まる」という環境は、大きな差です。当然、聞こえにも大きな差が生まれます。一見、集団からそれることなく行動している子ども、聞こえにくさをぐっと我慢していたり、周りの動きに合わせて目で動いていたたりするだけかもしれません。そんな子どもたちに、ぜひ一声かけていただけるとありがたいです。

体育館やグラウンドで行う活動は、話者との距離が遠かったり、周囲の騒音があったりして、難聴の子どもたちには（補聴器や人工内耳を着けていても）聞き取りにくい環境です。次のような手立てが有効です。本人に聞こえ方を確認した上で、ぜひ支援をご検討ください。

○屋外ではなく、事前に教室などで流れややり方などを説明しておく。

○ロジャーなどの補聴援助システムを有効に活用する。

○スタートなどの合図は、音だけでなく視覚的に分かる旗などを用いる。

○難聴の児童生徒が不利にならないようなルールや視覚情報を工夫する。

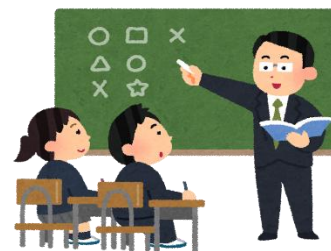
○予定変更の放送などは、板書など視覚情報などでも知らせる。



## 難聴のある高校生の進路について

難聴のある生徒が長岡地区ではほとんどの高校に在籍しています。在籍校の先生方、日頃のご指導をありがとうございます。

当校へここ数年、毎年難聴のある高校生の進路に関わる相談があります。それを受け、情報提供の必要性を感じ、お伝えすることといたしました。また令和6年4月より、公的機関だけでなく、事業所も合理的配慮の提供が義務となりました。必要な配慮を依頼できるよう、当校でも情報提供を行いたいと思います。



難聴のある高校生の進路については、次の例を参照され、必要に応じて当校へご相談をお願いいたします。

進路の例	方法 留意点等
一般の大学、短大、専門学校等	各大学等のHPに記載のある、「障害のある学生」を対象とした、入試方法を参照。記載がない場合でも、各大学等へ入試方法を問い合わせる。
上記のうち、共通テストを利用	大学入試センターの「合理的配慮」の要項(各高校等へ配付またはHPよりダウンロード)を参照。合理的配慮の申請メ切が早めなので、 <u>余裕をもって受診し、診断書を受け取る必要がある。R9年度用は6月中旬以降発表。</u>
筑波技術大学 (茨城県つくば市)	難聴のある生徒(高校卒も含む)が対象。診断書を作成する医師が「 <u>指定医師</u> 」である必要があるため、必要に応じてかかりつけ医からの紹介状の準備を依頼するなど、 <u>余裕をもって受診する必要がある</u> 。詳細はHPを参照。
聾学校高等部専攻科	難聴のある生徒(高校卒も含む)が対象。 <u>設置の有無、学科等</u> は各校のHPを参照。
就職	募集や申し込みは、各校の進路指導のルールによる。身体障害者手帳を利用した就職は、当校進路指導部へ案内が来ることがある。身体障害者手帳のある高2生徒対象のインターンシップの案内(県外)が来るともある。
☆自動車運転免許取得について	詳細は近隣の自動車学校へ、 <u>時間的な余裕をもって確認してほしい</u> 。 10m離れたところから90dB(窓を開けた地下鉄の音くらい)のクラクションの音が補聴器を装用して聞こえること等が自動車学校入校の条件。

☆進学、就職ともに、入ってからの配慮をお願いする必要があります。大学等であれば、「障害学生支援課」などの名称で、専門の窓口がある大学等が増えています。その窓口がなくて申請した結果、設立された大学等もあります。

☆R6年4月より「合理的配慮の提供」が義務となりましたが、予算などの都合でお願いしたことが全部受け入れてもらえるとは限らず、話し合いが必要な場面も出てきます。また、予算が必要なものは入学や入社が決まった後3月中に申し込むとスムーズなようです。

☆いずれの場合も、「自分のきこえやお願いしたいことを自分で伝える。もし、依頼したことが難しい場合は代替案を話し合う、助けてもらったからお礼を言う。自分でできることを積極的に取り組む」のは同じです。

県立長岡聾学校

<相談窓口>

教頭 福永 純恵 TEL 0258-38-0191

<担当>通級指導教室、支援部

教諭 千野 彩乃 TEL 0258-38-0210 Mail:school@nagaokarou.nein.ed.jp